



平成30年7月豪雨災害 一丸となって早期復旧

豪雨災害でお亡くなりになられた方、そのご家族の皆様にご挨拶申し上げます。また、けがや家屋の倒壊等の被害に遭われた皆様にお見舞い申し上げます。

7月6日（金）から7日（土）にかけて管内5府県（広島県、岡山県、鳥取県、兵庫県、京都府）に大雨特別警報が発令され、今まで経験したことのない豪雨により、広範囲にわたり未曾有の甚大な被害が発生しました。特に被害が大きかった広島森林管理署管内の国有林においては、大雨直後から、被害の状況調査や応急処置などの対応が続く状況となりました。

7月9日（月）から府県と合同でヘリコプター調査（兵庫県、広島県、京都府、岡山県）を実施するとともに、各森林管理署等において地上からの現地確認やドローンを活用した上空からの被害状況の確認を実施しました。また、被害状況の確認には、国有林防災ボランティアのご協力もいただいたところです。



野路山国有林（広島県呉市）

7月31日（火）からは「山地災害対策チーム」を結成し、第1陣（滋賀森林管理署、京都大阪森林管理事務所、鳥取森林管理署、山口森林管理事務所の治山担当職員）を広島森林管理署へ派遣し、現地で本格的な災害調査を展開しています。

近畿中国森林管理局管内の国有林被害は、まだ全容のすべてが明らかになっていませんが、8月9日の時点で、路肩決壊などの林道被害が427箇所、土砂の崩落などの林地被害が278箇所となっています。道路の通行止めにより被害調査が難しい箇所もあり、被害は今後さらに増える見通しですが、全力で被害状況を把握し、一日も早く被災者の方に、安全で安心な暮らしを取り戻せるよう組織一丸となって早期復旧に向けて取り組んで参ります。



日ノ浦山国有林（広島県海田町）

7月豪雨災害対応状況



広島森林管理署では、7月10日ヘリコプターによる上空からの森林状況調査を広島県森林保全課と合同で実施



上空から嵩山（かさみやま）国有林（広島県 熊野町）を調査 大規模な山地災害が発生



山地災害対策チーム結成式（第一陣メンバー）
広島森林管理署長が各署等から派遣された職員に謝意を伝える



山地災害対策チームによるミーティング
まずは、机上で調査区域の確認



被害地を調査し復旧計画を検討
35度を超える猛暑日が続く中で、調査を実施
嵩山国有林（広島県 熊野町）



早期復旧に向け全ての被害箇所を確認
流木と土砂の堆積地も多数発生
立石山国有林（広島市安芸区 瀬野町）

森から木材を運び出す

【資源活用課】

わが国の森林資源は、終戦直後から高度成長期にわたり伐採の跡地に植えられた人工林を中心に、総蓄積量が約 49 億 m³ に達し、毎年約 1 億 m³ 増加しています。

人工林の面積の半分は木材生産に適した 50 年生以上になっており、資源として本格的な利用期を迎えています。

このような状況の中で、利用期を迎えた豊富な森林資源を安定的に利用するため、機械化と効率的な木材搬出技術の開発が期待されています。

わが国の林業では従来、急峻な地形や小規模な作業単位などの条件による制約などから機械化は困難と指摘されてきましたが、近年、路網と林業機械を組み合わせた搬出方法が定着してきました。近畿中国森林管理局においても、これらの中から優良な事例を収集して事業体に普及するなど、この取組に協力しています。

路網と林業機械を組み合わせた木材搬出の例



資料：研修教材 2010 森林作業道づくり 一般社団法人 フォレスト・サーベイを改変

①林道を起点にして森林内に作業道を作設→②伐倒した木を、枝葉をついたまま「スイングヤーダ」で作業道へ引き出す→③「プロセッサ」で枝を落とし一定の長さに切って丸太に加工する→④作業道を「フォワーダ」で運搬する→⑤「グラップル」でトラックに丸太を積み込む→⑥林道を使ってトラックで運び出す。

「ドローン講習会」 林野災害時等の活動支援協定

【石川森林管理署】

先月の「森のひろば 1109号」で紹介した、「林野等災害時等における無人航空機等を活用した活動支援に関する協定」の一環として、8月1日、白山一里野温泉スキー場ドローン飛行場において、白山市、白山野々市消防本部、石川農林総合事務所の職員合わせて23名が参加し、猛暑の中、ドローン講習会を開催しました。



講習会では、ドローンの飛行に関する法律とルール、ドローンの基本操作について座学を行い、石川森林管理署に配備されているドローン3台を使って、3班に分かれて約1時間半に渡り、ドローン操作を行いました。



講習会に参加した白山市の職員からは、「思ったより操作は簡単で使い易い。災害が発生した時に危険で近づけない場所や、上空からの状況が確認できるなど、ドローンの有効性を認識した。ドローンを導入して災害等の調査に役立てていきたい」などの感想をいただきました。



石川森林管理署では、白山市との活動支援協定締結後、7月の豪雨災害発生以降に災害調査の要請を受け、7月18日にドローンを活用した災害調査を実施したところです。

今後も引き続き、白山市や石川県と連携し、ドローンを活用した森林被害状況の把握やデータの提供等の支援に取り組んでまいります。



「3D 地上レーザー」で 森林調査の勉強会

【福井森林管理署】

福井森林管理署とふくい林業カレッジは、森林・林業の技術の普及、人材の育成等を図ることを目的に、連携と協力に関する協定を締結しました。（森のひろば 1108 号で紹介）

この協定に基づく協力の一環として、平成 30 年 7 月 25 日、大野市の湯上国有林で「3D 地上レーザーを利用した森林調査の現地勉強会」を開催しました。この勉強会には、カレッジ研修生のほか福井水源林整備事務所、福井県の職員も参加し、午前「3D 地上レーザー」を利用して林分調査を行いました。

福井森林管理署職員による使用機器の説明の後、カレッジ研修生に実際に触れてもらいながら林内を調査しました。調査方法は、レーザーを照射する機器を一定時間静止させて計測し、およそ 10m 間隔毎に移動して同じ動作を繰り返すものです。機体は 4 キロ弱と軽量で、移動の負担は少ないようですが、斜面に対して垂直を保つ

こと、レーザー照射中は調査者の挙動が影響しないよう静かにじっとしていることが求められるなど、従来の山野を駆け回る調査方法とは対照的な特徴もあり、カレッジ研修生をはじめとする参加者は慣れない機器に苦労しながら調査を行っていました。



午後は使用機器とパソコン（以下 PC）を連携して、調査した林分のデータ確認、林分内容の分析を行いました。「どのような成果となっているのか」等の不安もあったようですが、PC のディスプレイ上に出力された樹木の形状や位置関係、地形の再現画像や動画によって、リアルな森林が再現されていることに驚いていました。また、胸高直径や樹高データを取り込んでいることにより、短時間にその区域の森林蓄積や材積も試算できるなど、PC 持参であれば現場で確認できるメリットがあることにも関心を寄せていました。



ICT（情報通信技術）等の先端技術を活用した森林施業の効率化・省力化は今後一層進んでいくものと予想されます。今回の勉強会が「スマート林業」（森林施業の効率化・省力化や需要に応じた高度な木材生産等を可能にする林業）の推進のきっかけになることを期待しつつ勉強会を終了しました。

3D 地上レーザーとは

レーザーを照射することによって、照射された範囲（30 m 程度）の、木の高さ、直径、曲がり、本数がわかる。よって、調査したい区域を、一定間隔でレーザーを照射すると、調査区域全体の本数や材積が積算できる。

森林の中で 「森と水の学習会」開催

【広島北部森林管理署】

平成30年7月25日（水）広島北部森林管理署とアサヒグループ「アサヒの森環境保全事務所」（松岡洋一郎所長）と広島水源林整備事務所（酒井文司所長）の共催により、庄原市にあるアサヒの森「甲野村山」において、庄原市立比和小学校の5～6年生12人を対象に「森と水の学習会」を開催しました。

最初に、NPO法人びほく・森のサポーターズが、紙芝居「雨の子レイン坊やの冒険」とクイズで森林の保水機能を説明し、続いて、アサヒグループのスタッフによる「水の浄化実験」を体験し、泥水が土壌によって浄化され、きれいな水で落ちてくる様子を観察しました。



その後、広島水源林整備事務所が「森林のはたらきとセンターの仕事」を説明し、児童からは「水が小さな穴を伝ってしみ込んでいくことが分かった。」、「森の土壌は、ろ過をする役割があることが分かった。」と感想がありました。

午後からは、「生活の知恵」と題して、地元の八川さんの話を聞き、児童達は、背負子（しょいこ）で薪を背負ってみたり、かごの中身を

楽にひっくり返す方法を体験しました。



また、木を枯死させる「巻枯らし」も体験し、のこぎりで切り目を入れた樹皮を引っ張るときれいに剥がれ、歓声が上がりました。また、剥いだ皮には水分がたくさんあり、びっくりしていました。



最後は木工教室。広島北部森林管理署職員の指導の下、木の輪切りを使ってワニなどの顔ができてきました。



終わりに児童から、「飲む水は地球全体の0.01%。水を大切にしたい。」、「皮を剥いで枯らす大変な作業を知った。」、「新たな学びがあった。森を守っていこうと思う。」などの感想が発表されました。

お知らせ

各地のイベント

各イベントの内容については近畿中国森林管理局のホームページをご覧ください。

または、それぞれのQRコードでご検索ください。

*大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団 参加者募集

近年、ニホンジカ（以下「シカ」という。）の急激な増加に伴い森林生態系への被害が深刻化しています。

そのため、三重森林管理署と近畿地方環境事務所では、防鹿柵の設置や樹木へのネット巻きなど自然再生への取組を実施しています。

これらの取組を一般の方に知っていただくことを目的に、樹木のネット巻きなどを実施する森林ボランティアを募集します。



日時：平成30年9月29日（土）10:40～15:30

場所：大台ヶ原及び大杉谷国有林

受付：大台ヶ原ビジターセンター前

募集人数：30人

吉野熊野国立公園パートナーシップイベント

大台ヶ原・大杉谷の森林再生応援団

参加者募集！！

平成30年9月29日（土）

場 所：大台ヶ原 正木峠周辺
募集人数：30名（小学4年生以上の方・先着順）
申込み期間：8月13日（月）～9月20日（木）

大台ヶ原の正木峠から正木ヶ原にかけては、ササ原に枯木や倒木といった風景が広がっています。しかし、昭和30年代には、うっそうとして森林がありました。三重森林管理署と近畿地方環境事務所では、かつてあった森林を再生するために様々な取組を行っています。秋の1日に、あなたも大台ヶ原の森林再生のお手伝いをしてみませんか？

ネット巻き
ササ刈り

主催：三重森林管理署・近畿地方環境事務所
後援：奈良県上北山村・三重県大台町

*産学官共催セミナー

～国産早生樹センダンの使い道～

従来の造林樹種よりも短期間で収穫でき、材質も良いなど、新たな造林樹種として大きな可能性を秘める早生樹センダン。

センダン植林の普及には、低質材から高品質材まで、多様な用途開発も必要です。

本セミナーでは、木質ボードや合板などの 新たな活用方法について議論します。



日時：平成30年9月14日（金）13:30～16:45

会場：大阪港木材倉庫株式会社2階 会議室

大阪市住之江区平林南1丁目 1-52

定員：70人（要事前申し込み）

*「国有林の森林計画に関する地域懇談会」 参加者募集のお知らせ

住民参加の森林づくりを進めるため、地域の皆様からのご意見・ご要望をお伺いする「国有林の森林計画に関する地域懇談会」を開催します。

各森林計画区の市町村にお住まいの方や国有林野事業にご関心のある方であればどなたでも参加できます。

ぜひご参加いただき、ご意見をお聞かせください。

懇談会を実施する地域、開催日時及び場所
申込み方法等

「国有林地域懇談会」で検索！



第19回天満音楽祭同日開催
おおさか山の日関連イベント

第32回



水都おおさか

もり

森林の市 2018

木の魅力

触れて

学ぼう

森林のこと

平成30年

10月28日(日)

10時～16時 雨天決行(荒天中止)

入場料
無料

【会場】近畿中国森林管理局・毛馬桜之宮公園

会場内に駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください

JR環状線「桜ノ宮駅」西出口から徒歩5分

詳しいイベント
内容はこちらから！



水都おおさか森林の市2018 検索



「ミス日本みどりの女神」来場



林業おもちゃも！当たって学べる
森林のガチャガチャ抽選会



豚肉バーガーの無料ふるまいも！
森林のごちそうフードコーナー



「森のようちえん」体験ブースも！
キッズコーナーがパワーアップ！



水都おおさかを流れる淀川の豊かな水を支えてきたのは森林であり、その森林は農山村地域に住む人々の手で守られてきました。「森林(も)りの市」は、森林の恵みや木に触れることで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業・木材産業の役割と意義、農山村の現状について理解を深め、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目指したイベントです。今年も、次世代の森林・林業・木材産業の担い手となる子どもたちや子育て世代も楽しめる企画をたくさんご用意しました。

2018スペシャルイベント



「ミス日本みどりの女神」登場
みどりや木とのふれあいや活用を通じて、みどりと木への親しみを広げる役割を担う「ミス日本みどりの女神」。今年は4代目「みどりの女神」で和歌山出身の竹川智世さん(21)が登場し、イベントを盛り上げます。



当たって学べる 森林のガチャガチャ抽選会

(10時半受付開始、抽籤開始、スタンパリー制)
会場内のブースを回ってシールを集め、アンケートに答えると、森林、山、水にまつわる景品(アイテム)が当たるガチャガチャが回せます。当たったアイテムは森のどこからやってくる? 森のどこで使うもの? 身近な生活に開けた森とのつながりを考えてみよう。

参加者には「青森ホテル 大坂」の最良レストラン、テイクアウトコーナー等で使える優待券をプレゼント!
さらに、森林の広報誌として「フォレスト・サポーターズ」の活動報告をすると、オリジナルシール等をプレゼント!



今年の出展内容の一部紹介



木製コマ塗り体験 大阪の伝統工芸フチ体験 紙製品・木製小物の展示販売 自然素材のクラフトコーナー

つるかご編み、丸太切り体験、水溜の森ジオラマづくり、木製おもちゃの販売など、毎年おなじみの人気ブースも出展を予定しています!!

※「フォレスト・サポーターズ」とは平成19年にスタートした「美しい森林(もり)づくり推進国民運動」の一環で、「植えて、育てて、収穫して、上手に使って、また植える」という「森づくりの循環」を取り戻し、日本の森を元気にしていくために、一人ひとりが森の応援隊として行動を呼びかける団体です。具体的には、身近にできる「森のたのめ4つのアクション」として、「森にふれよう」「木をつかおう」「森をささえよう」「森と暮らしよう」の4つの活動への参加を呼びかけています。 <http://mori-zukuri.jp/>

森林のごちそう食のイベント



ジビエなど森林のめぐみに感謝していただくフードコーナー
毎年行列のできる森肉バーガーの無料ふるまいのほか、有料の飲食ブースでも、猪肉の串焼き、骨付きロース、森肉コロケやコロケサンドなどのジビエ料理が楽しめます。その他、柿やみかんなどの果物をはじめ、各地からの特産品も、さらに今年は、近年注目が高まっている一方で、消滅の危機に瀕している「未精仕込みの日本酒」の価値や魅力を紹介するフォーラム(建物4階)と併せて、「木精仕込みの日本酒」の試飲等の特設ブースも、林業と和食文化を育む「木の文化」にもご注目ください。

水辺のイベント



キッズボート乗船体験

乗船受付時間:
①10:30~11:30
②12:30~13:30
1人1回200円(所要時間3分程度)
※水に濡れても良い服装でご参加ください
一社 平林会/公財 マリンスポーツ財団

大川をドラゴンボートで

ごぎながらめぐる乗船体験
季節予約制:源八橋~大江橋間を往復(所要時間50分程度)
①11:30発 ②13:30発
定員18名(お子様の座席不可)
1人600円
<申込方法>
電話かメールでご予約ください
NPO法人大阪の子どもたちを水辺に誘う会 代表:藤本慎二
Tel:090-3706-7193
E-mail: shinji-oniwa@nike.com.ne.jp

キッズ&親子向けイベント

※会場内に、授乳とオムツ替え用のスペースをご用意しています



木のボールプールや木のおもちゃ遊び場

道かみのある木のボールを敷きつめた木のボールプールや、木の振り物おもちゃ、積み木コーナーなど、木に思いっきり触れて遊べます。



森林の虫とのふれあい体験

大阪教育大学で学ぶ未来の先生たちが、キャンパスからいろいろな虫をつけてきてくれます。大阪教育大学公式キャラクターの「やまお」も一緒にブースを盛り上げます。



「フォレスト・サポーターズ」コーナー

「フォレスト・サポーターズ」運営事務局(公社)国土緑化推進機構、美しい森林づくり全国推進協議会との共催により、子育て世代が楽しめるような新しい「森林とのふれあい」プログラムとして、森林セラピー、森のようちえん、森のヨガ、森のアロマなどのお試し体験ブースでお出展します。

連携(後援)イベントのご案内



十津川村公園2018
開催期間:
10月26日(金)~28日(日)
開催時間:10時~17時
場 所:てんしば
(天王寺公園内)
主 催:十津川村
奈良県十津川村の木で削った木製遊具で遊べる期間限定のイベント。都市部の子供達が遊びを通して気軽に「木に触れる」ことで、木の「手触り」「香り」「ぬくもり」を感じてもらいたいという、森林の市にも共通するコンセプトで開かれます。詳しくはこちら→ <https://www.tokukawaforestry.jp/>

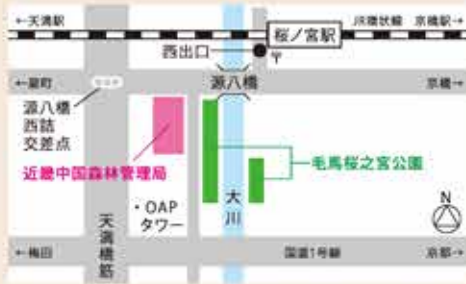
問合せ先
水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会事務局
〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-75 (近畿中国森林管理局 技術普及課内)
TEL:06-6881-3484 FAX:06-6881-2055

・会場内には駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。・車賃はイメージです。・出展内容は予告なく変更する場合がございます。・会場内には、有料・無料のコーナーがあります。

主催:水都おおさか森林づくり・木づかい実行委員会(NPO法人大阪の子どもたちを水辺に誘う会/大阪府/大阪府森林組合/一般社団法人大阪府木材産業会/公益財団法人大阪みどりのトラスト協会/NPO国際材住宅推進協会/NPO法人自然と緑/天満橋美実実行委員会/天満橋西詰了目復興司会/一般財団法人日本森林林業振興会大阪支部/日本日職大工クラブ大阪支部/瀬川地域社会福祉協議会/瀬川連合振興町会/三聖地所プロ(ティマ)マネジメント株式会社関西支店/近畿中国森林管理局)

協賛:株式会社Kukkie/ブリオジャパン株式会社/株式会社トースン/丸福企画株式会社/FOREST MEDIA WORKS株式会社/株式会社ニシムラ精造形造形/株式会社ロコスコーポレーション/有限会社ヨガワークス/出雲カーボン株式会社/神製紙株式会社/アルブル木工教室/NPO法人木育フォーラム/株式会社豊成社/株式会社カーボニー/株式会社キシル/株式会社ピクセル

後援:国土交通省近畿地方整備局/近畿地方環境事務所/近畿農政局/三養興/滋賀県/京都府/奈良県/和歌山県/大阪府/十津川村/大阪府教育委員会/滋賀県森林組合連合会/京都府森林組合連合会/奈良県森林組合連合会/兵庫県森林組合連合会/和歌山県森林組合連合会/滋賀県木材協会/一般社団法人京都府木材組合連合会/奈良県木材協同組合連合会/兵庫県木材協同組合連合会/和歌山県木材協同組合連合会/内閣府公益社団法人大阪府民会/公益財団法人国土緑化推進機構/公益財団法人関西21世紀協会/公益財団法人国華会と緑の博覧会協会/青森ホテル 大坂/新築新築社/美しい森林づくり全国推進協議会



シリーズ 『国有林 最前線!』

広島森林管理署 ～7月豪雨 再び大規模災害～

広島森林管理署は、広島県の北西部から南東部に広がる約28,700haの国有林と約1,600haの公有林野等官行造林地を管理経営しています。

管内の北には恐羅漢スキー場を抱える安芸太田町の雄大な自然美、南には世界遺産宮島の風景林、そして東には映画のロケ地にも多く使用される福山市鞆の浦周辺など、特色ある森林を有しています。当署では、管内の森林が有する様々な公益的機能を発揮させるため、周辺の民有林と連携した事業を行うなど、効率的かつ適切な森林整備を行っています。

また、平成26年に広島市北部を襲った広島豪雨災害では国有林にも大きな被害が生じましたが、その直後から地域住民の皆様の安全確保のための治山事業を精力的に進めてきたところです。

その記憶もまだ新しい中、今回再び発生した平成30年7月豪雨災では、平成26年とは比べものにならないほどの広範囲で約150箇所(8月9日時点)の土砂崩壊等が当署管内で発生しました。今回も発生直後に全体の状況把握のためヘリを飛ばすとともに、現地に職員を派遣して被災状況の詳細な把握を早急に行いました。あわせて、2次災害防止等のための応急復旧事業を迅速に進めているところです。このように広範囲かつ多数の被害箇所での対応を余儀なくされていますが、関係機関と連携しつつ最適な復旧方法を検討し、地元の方々が一日も早く安全で安心な暮らしを取り戻せるよう、職員一丸となって全力で復旧事業に取り組んで参ります。



野路山国有林

三重森林管理署 飛鳥森林事務所 森林官 檜木野俊昭

飛鳥森林事務所は、三重県南部の熊野市に所在し、熊野市、御浜町、紀宝町の国有林6団地、約3,374ha、官行造林5団地の約87haを管轄しており、西は奈良県、南は和歌山県境と接しています。

管内には、「日本美しの森お薦め国有林」のひとつの七里御浜(しちりみはま)国有林があり、熊野市、南牟婁郡御浜町、同郡紀宝町の間約25km続く、「日本で一番長い砂礫海岸」として、「日本の渚百選」にも選定されている七里御浜海岸と一体的な景観をなしています。

七里御浜国有林は、松林が白浜に美しく映え、防風保安林として民家等を強風や潮害から守り、松林の中には散策路が整備され地元の方々の憩いの場として親しまれています。松林では松くい虫被害が問題となっており、三重県や関係市町と連携し、松枯れ発生を予防する薬剤を樹幹に注入する防除や、危険木及び腐朽木を除去し林内の安全確保と景観の維持を図る修景伐事業等を行い、年間を通して被害対策等を進めています。



七里御浜国有林

このほか、熊野市、御浜町、紀宝町、三重県、環境省、三重森林管理署で「七里御浜松林を守る協議会」を締結し、松林を守り育てるため抵抗性クロマツ苗を植えたり松林の手入れを行う「七里御浜防風林GG(グリーン・グロー)作戦」や、環境省及び周辺自治体との協力でウミガメ産卵前に海岸の清掃作業活動を行う「七里御浜一斉クリーン作戦」、市民ボランティア団体による清掃活動などが行われています。